

## (第6期)第6回さいたま市公民館運営審議会 議事録

### 1 開催日時

平成24年9月28日(金) 午後2時00分から午後3時30分まで

### 2 開催場所

岸町公民館 3階視聴覚室

### 3 出席者名

委員：7名

楠谷 忠洋	委員長
安藤 聡彦	副委員長
青島 祐子	委員
柿塚 一二三	委員
鶴見 清一	委員
船木 正子	委員
長岡 綾子	委員

事務局：5名

生涯学習総合センター

館長 中川 晴美
副館長 細見 俊孝
主幹 小川 栄一
主幹兼事業・企画係長 森田 隆之
事業・企画係主査 斉藤 明彦

### 4 開 会

出席状況の確認、第5回審議会議事録の承認を経て議事に入った。

### 5 議 題

- (1) 視察の報告について
- (2) 平成25年度生涯学習総合センター・拠点公民館・地区公民館の基本方針・事業方針について

### 6 配布資料

- (1) 公民館視察報告書における各委員の意見のまとめ(各グループごと)(資料1)
- (2) 公民館視察報告書における各委員の意見のまとめ(資料2)
- (3) 平成25年度生涯学習総合センター・拠点公民館・地区公民館基本方針(資料3)

( 4 ) 平成 2 4 年度公民館文化祭予定表 ( 資料 4 )

7 公開・非公開の別  
公開

8 傍聴者の数  
0名

9 会議  
・会議は委員の半数以上が出席しているので、成立。

10 審議内容

( 1 ) 議題 1 視察の報告について、事務局より資料 1、2 に基づき説明した。

楠谷委員長	ただ今、視察の報告について事務局より説明していただきました。皆さんから提出された意見につきまして、事務局でまとめていただいたものだと思います。 補足説明や視察をしてお感じになったことなどありましたらお願いいたします。
長岡委員	科学教室を見学させていただきました。事業の一つの本当に一こまを見ただけでした。全てを見たわけではありませんので、全体については分かりかねます。
船木委員	文化祭、スタンプラリーなど、全ての公民館により取組などは伝えていければよいのではないのでしょうか。
青島委員	岩槻本町公民館の事業を視察させていただきましたが、一部分のみでした。中学校の受け入れ態勢が整えられ、来賓席まで設けてありまして学校が特別に気を遣ってセッティングしてくれていましたので、ふらっと気軽な感じで聞くことができませんでした。
鶴見委員	講座の一部分を見学させていただきました。文化祭などの予定表も出していると思いますので、委員として気軽にフリーに公民館を見る努力が必要だと感じました。
船木委員	いつも見ている公民館と比較して貼紙や施設の様子は違いました。普段から公民館を見るのもよいと思います。
楠谷委員長	正式に視察するときと個人で自由に見に行くことで全体像が見えてくるのではないのでしょうか。いざ視察に来るとなるとよそ行きになってしまい、ざっくばらんに全てを出せばよいが、視察者の中身によってはそれをためらうこともあります。度々足を運ぶことにより実態が見えてくるのではないのでしょうか。
森田主幹	視察における意見の中で、課題等が見えてきた場合、諮問や審議の中に取り入れさせていただこうと思います。

	<p>視察の報告において、委員の皆さんから出していただきました意見等を参考に、次の3点を、諮問の方向としてまとめました。</p> <p>学校や地域の団体との連携・協力 公民館登録団体による学習活動の地域への還元 地域の特性を生かした事業の充実</p>
船木委員	3点の2番目についてですが、登録団体による学習活動の地域への還元とはどういうことですか。
森田主幹	団体が講師や講座の協力などで学習成果を地域へお返しするということです。
船木委員	3点の1番目についてですが、連携・協力については文化祭などで既にやっているようですがいかがでしょうか。
森田主幹	今やっていることの先のことを考えていかなければいけないと思います。
船木委員	この3つのことを投げかけて各公民館の職員と協議会とで考えていただくのですか。
森田主幹	こういったところを踏まえて方向性、どんなことができるか公民館運営審議会で考えていただきます。
船木委員	諮問を受けての答申が生かされるのは、いつになるのですか。
森田主幹	来年度に答申をいただくので、それ以降になります。
楠谷委員長	来年9月が私たち委員の任期です。本日は答申の柱のいくつかを出していただいたとお考えいただきたいと思います。
船木委員	それでは私たちの任期が終わった後なのですね。
森田主幹	そうです。
鶴見委員	学校との連携についてですが、学校は授業日数を確保するのに大変な状況にあります。学校だけでなく他のところ、例えば幼稚園などとの連携を図っていったらどうでしょうか。また、学校は公的機関ということでしょうか。
森田主幹	幼稚園、小・中学校、高校、大学などの教育機関ということです。
楠谷委員長	社会教育と学校教育との関係は、学校教育の方が上位にあるかのような錯覚があるので、今は生徒の作品の展示が中心の連携になっています。もっと広い意味での連携をしていく必要があります。
船木委員	諮問の3つの柱について、補足説明をしていかないと、もう既にやっていますと言われてしまうのではないのでしょうか。公民館職員に今さらですかと言われてしまう気がします。
中川館長	大津市の事件から最近の中学校の現状を聞きましたが、いじめをはじめ多くの問題を抱えています。乳幼児や小学校は地域とのつながりがありますが、中学校はあまりない状況です。学校教育でできないことを社会教育でやる必要があります。学校以外の自分の居場所を提供

	していけたらと思います。視点を変えての連携を考えていきたいと思っています。
船木委員	全校で土曜チャレンジスクールを実施予定ですが、人材の確保をするため地域との連携が必要となってきます。学校評議委員会の席上でぜひ公民館長が一言言っていただければと思います。
長岡委員	視察した公民館でのお話ですが、学校から公民館にこういうことをやらせてくださいと申し出があったとのことでした。中学生を公民館に取り込んでほしいと思っていました。青少年育成会での活動でも中学生を取り込むのが大変でした。と申しますのは、中学生に社会参加してほしいと考えても、中学生のスケジュール等を考慮し、話し合いの一步が踏み出せないのが現状でした。ぜひ中学生を取り込んでいただきたいと考えます。
安藤副委員長	北海道のとある村立高校で地域ミュージアムというものがあり、高校生がボランティアで絵画について、時には自分たちの作品についても、解説をするというものです。作品を展示するだけでなく、このような学生の社会参加が図れるとよいですね。
楠谷委員長	皆さんに検討いただく柱として、事務局から示していただきました。この他に何かあればそれも加えて検討していただき、これからの公民館の方向性を見きわめていきたいと思っています。

(2) 議題2 平成25年度生涯学習総合センター・拠点公民館・地区公民館の基本方針・事業方策について、事務局より資料3に基づき説明した。

楠谷委員長	ただ今、来年度の基本方針・事業方策について事務局より説明していただきました。ご質問等がありますでしょうか。
船木委員	生涯学習総合センターと地区の公民館とで異なっているのが分かりました。生涯学習総合センターの事業方策の中に公民館事業の指導・助言とありますが、諮問の柱についても地区の公民館へ伝えてくれるのですね。
森田主幹	皆さんに審議していただいたことを伝えていきます。
安藤委員	人材育成すなわち職員研修については、どのような内容で実施しているのでしょうか。また、地域的課題と現代的課題との違いを教えてくださいませんか。
森田主幹	<p>新任研修につきましては、基礎研修とプログラム作り研修を実施しています。基礎研修の内容は、公民館の歴史、人権、接遇、講座管理システムなどの実務的なものなど、プログラム作り研修では、実際に講座の企画を立てるというものです。</p> <p>館長研修ではクレーム対応、全体研修では救急救命、専門研修では、パソコン研修としてワードとエクセルのスキルアップ、ビジネススキルアップ研修としてコミュニケーションなどの内容で実施し、今後、</p>

	<p>自己スキルアップ研修としてタイムマネジメントや論理的なものの考え方（ロジカルシンキング）などの内容で実施していきます。</p> <p>また、地域的課題とは、公民館運営協議会、利用者団体から、また自治会との交流の中で出てきたものであり、現代的課題は一般的に言われている社会的な問題を言っています。</p>
安藤副委員長	<p>つなぐことの難しさ、人と人、資源と資源、人と資源などそれぞれをつなぐのは非常に難しいことです。さいたま市は、ハード面はとても充実しています。ソフト面の充実を図っていただきたいと思います。つなぐことは大変ですが、そのためにも研修の充実を期待します。</p>
楠谷委員長	<p>地域的課題と現代的課題とは分かりづらいところがあるため、お間違いのないようにお気をつけいただきたいと思います。職員研修につきまして、このような内容で実施したというまとまったものがありましたらいただけますでしょうか。</p>
船木委員	<p>諮問の3つの柱をこの方針の中に入れてしまってはどうですか。</p>
森田主幹	<p>この3つのことはよく言われていることですが、本当の意味でできているかということになります。事業を考えていく上でのキーワードとしてお考えいただきたいと思います。</p>
船木委員	<p>この事業方策と3つの柱との違い、3つの柱については事務局から公民館へ伝えてもらうしかありません。</p>
森田主幹	<p>審議会での検討結果を伝えていきたいと思います。</p>
青島委員	<p>資料にある（例）として記載されています事業の実例につきまして、この方針・方策の（案）がとれましたら、削除するのですか。（例）は私たちに分かりやすくするために入れているのでしょうか。（例）としては具体的過ぎる箇所もありますが、いかがでしょうか。</p>
森田主幹	<p>（例）は削除したいと思います。</p>
楠谷委員長	<p>答申を考えるヒントとして一言お話をさせていただきます。まずは基本を知っていることが大切です。職員にとって士気が必要です。職員の士気は住民の学習意欲を高めます。</p> <p>次に公民館をめぐる4つの今日的課題について、述べさせていただきます。1つ目は、公民館が公営のカルチャーセンターではないかということです。事業は公民館の命ですが、ややもするとカルチャーセンター的になっていたりします。2つ目は、学習活動が学習ごっこで終わっているということです。厳しい問題は放っておいてきれいごとばかり取り上げています。3つ目は、学習活動から自主運営グループが育たないということです。趣味的なものはできていますが、コミュニティなどの分野ではできていません。住民をお客様扱い、気持ちよく利用してもらおうとして、過剰サービスになっています。4つ目は、来館する人のための公民館でよいのかということです。利用者のアンケートはとっていますが、利用していない人のアンケートはとって</p>

	<p>ません。</p> <p>正式に諮問が出されると思いますが、今回出されました課題につきまして、取り組んでいるところもありますが、取り組んでいない公民館、学校、地域もあります。幅広くさいたま市として考えていく必要があります。60館近くある公民館の審議会ですので、ある意味社会教育委員と同じような活動を求められます。審議会のあり方についても一つの課題として受け止めていかなければならないと思います。</p>
--	---

(3) その他

- ・次回は、11月27日(火)13時30分から生涯学習総合センターにおいて開催することを確認した。

11 閉会